

学校 教育 目標	①自ら学習力の向上に努め、自立的に学び続けていく力を伸ばします【知】 ②自他の生命を尊重し、心身の健康を維持・向上していく力を伸ばします【徳・体】 ③共に認め合い、参画し、自他および社会を高めていく力を伸ばします【公・開】 [具体的な取組目標] ①学習の基礎・基本を身に付け、それらを基に活用・探究していく学習力を養うと共に、自立的に学び続ける意思を育みます。 ②生徒自らが心身の健康や体力の維持・増進を心がけ、それに向けての実践意欲や振り返る姿勢を育みます。 ③仲間や地域の人たちと協働して取り組む活動を通して、人とともに生きる大切さを理解し、その実践力を育みます。				
学校 概要	創立 41 周年	学校長 鈴木 博道	副校長 鳥飼 敦子	3 学期制	一般学級：15 個別支援学級：4
	児童生徒数： 500 人 主な関係校： 南戸塚小学校・下郷小学校・小雀小学校・千秀小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	南戸塚中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力> <情報活用能力> <問題発見・解決能力> <自分づくりに関する力> <健康・安全・食に関する力>	南戸塚中学校 南戸塚小学校 下郷小学校	他の人や社会に役立つ人を目指して、主体的に行動し、 たくましくしなやかに生きる子ども ・合同研修会を活用し、9年間で育てる子ども像の実現のための資質と能力についての共通理解を図る。 ・公開授業を通じて、保護者や地域の方々の意見を交えながら、資質・能力の育成を図る。 ・合同授業研究会を通じて、育成の方策が効果的となっているかを検証する。

中期 取組 目標	「チーム南戸塚」として組織的な学校運営を行い、「誰もが・安心して・豊かに」生活できる学校づくりを目指します。 ・生徒、保護者、地域が参画する学校評価を実施し、根拠に基づいた改善を重ねます。 ・生命を大切にすることを第一に考えた、安心、安全な学校づくりを目指します。 ・生徒が仲間と協働し学びを深める授業を実践し、主体的に取り組む態度を育成します。 ・地域社会との関わりを大切にすることで、社会に貢献できる力を育てます。
----------------	---

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	・校内およびブロックの授業研、生徒による授業評価から、主体的に取り組む態度の育成やICTの効果的な活用等を意識した授業改善につなげる。 ・学習状況調査のデータ結果を分析し、教材研究や指導に生かす。 ・昨年度に引き続き探求学習の質の向上を目指し、学校の特色が生み出す内容を構築していく。
担当	学習指導部・教科会	
徳	人権教育	・「いのちの授業」や人権標語など、意識を高める教育活動を継続する。 ・生徒の声を反映させるために、YPアセスメントや振り返りアンケートの活用を充実させる。 ・小中合同研修会では、特別支援教育の視点での研修を行い、ブロックとしての親の共有を図る。 ・平和学習を推進し人権尊重精神の涵養に取り組む。
担当	人権国際理解推進委員会	
体	健康・安全管理	・委員会活動で、安全点検を実施する。 ・清掃道具の管理、消毒や換気など、安全で快適な学校生活環境を整備する。 ・外部侵入者に対する訓練を行い、生徒の自衛能力向上に向けて具体的な行動について確認する。 ・授業や委員会活動を通して心身の健康の維持と向上に努め、全員給食と合わせて食育の充実を図る。
担当	保健指導部・保健体育科	
公 開	主体的生徒活動と地域・社会貢献	・生徒会活動、行事など生徒がICTを効果的に活用しながら、充実した話し合いを進めて、より良い集団づくりを目指すよう育成する。 ・SDGsと関わりのある身近な取組について、委員会や行事で生徒が自分事として深める活動を行う。 ・教育懇談会での連携を、さらに地域貢献へと広める。
担当	特活指導部	
いじめへの対応		・SNSを利用したいじめの多様化において生徒たちの日々の健康観察や教育相談の場を活用して、いじめの未然防止対応を行う。 ・生徒指導部会を活用して学年関係なく、全教員が生徒の実態の把握に努める。 ・気になったことは保護者とも密に連携がとれるようにすぐる等を活用して発信を行う。
担当	専任・生徒指導部	
人材育成・組織運営(働き方)		・学年連絡会やメンター研修を定期的に行い、情報を共有し効果的に運用する。 ・各会議をICTを利用することで会議時間を短縮し、生徒と向き合う時間を確保する。 ・講演会や研修などを外部講師を招聘して行い、チーム学校として意識や実践力や高める。
担当	企画運営会	
受容型生徒指導		・アンケートや教育相談の場以外でも、生徒から相談しやすい雰囲気をつくるよう工夫し、生徒理解を深め、保護者との連携も行う。 ・休み時間に廊下やグラウンド、保健室等で積極的に生徒たちの輪に入っていく。 ・問題行動等の未然防止に努める。
担当	生徒指導部	
特別支援教育		・小学校からの引継ぎや保護者との連絡、学年会や生徒指導部会、学年連絡会等を通じて、全生徒の状況を共有する。 ・校内ハートフルの物的、人的支援を充実させ、生徒のニーズに応えられるようにする。 ・SCやSSWと連携し、不登校生徒・保護者との相談活動を行い、必要に応じて他機関とも連携する。
担当	特別支援教育委員会	
		b9
担当		
		b10
担当		

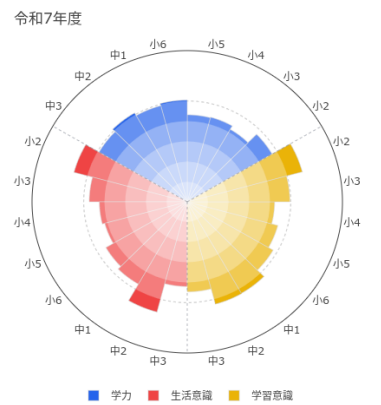
学校教育目標
①自ら学習力の向上に努め、自立的に学び続けていく力を伸ばします【知】 ②自他の生命を尊重し、心身の健康を維持・向上していく力を伸ばします【徳・体】 ③共に認め合い、参画し、自他および社会を高めていく力を伸ばします【公・開】 [具体的な取組目標] ①学習の基礎・基本を身に付け、それらを基に活用・探究していく学習力を養うと共に、自立的に学び続ける意思を育みます。 ②生徒自らが心身の健康や体力の維持・増進を心がけ、それに向けての実践意欲や振り返る姿勢を育みます。 ③仲間や地域の人たちと協働して取り組む活動を通して、人とともに生きる大切さを理解し、その実践力を育みます。

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	具体化した資質・能力
＜言語能力＞ ＜情報活用能力＞ ＜問題発見・解決能力＞ ＜自分づくりに関する力＞ ＜健康・安全・食に関する力＞	基礎学力、基本的生活習慣の定着 自主性・積極性・柔軟性ある思考力、行動力 自己肯定感の育成と多様性を尊重する態度

中期取組目標
「チーム南戸塚」として組織的な学校運営を行い、「誰もが・安心して・豊かに」生活できる学校づくりを目指します。 ・生徒、保護者、地域が参画する学校評価を実施し、根拠に基づいた改善を重ねます。 ・生命を大切にすることを第一に考えた、安心、安全な学校づくりを目指します。 ・生徒が仲間と協働し学びを深める授業を実践し、主体的に取り組む態度を育成します。 ・地域社会との関わりを大切にすることを育て、社会に貢献できる力を育てます。

学力向上アクションプラン

重点取組分野	具体的取組
授業改善	・校内およびブロックの授業研、生徒による授業評価から、主体的に取り組む態度の育成やICTの効果的な活用等を意識した授業改善につなげる。 ・学習状況調査のデータ結果を分析し、教材研究や指導に生かす。 ・昨年度に引き続き探求学習の質の向上を目指し、学校の特色が生み出す内容を構築していく。
担当	学習指導部・教科会

学力向上に関わる本校の状況		今年度の目標	
令和7年度  ●現第3学年の生活意識が高いことが特徴であり、学習意識、学力共に市の平均を上回っている。 ●現第2学年は生活意識が平均より下回っているが、学習意識は高く、特に集団活動を得意としている。 ●現1学年は生活意識がデータ上平均を下回っているが、中学校生活において、自律と自立を身につけることでの変化を期待したい。		・学習指導要領の趣旨に基づく授業実践を行う。 ・「総合的な学習の時間」における探究的な学習の充実を図る。 ・学習計画と定期試験の結果を用いた振り返りで学習習慣を意識させる。	
目標を実現するための具体的行動プラン			
上半期		・教科会にて、生徒の各教科・学年における課題を分析し、適切な学習方法などを実施・検証していく。 ・職員が相互に研究を深められるように、授業を見合う期間を定期的に設定する。 ・ICT機器の利用について生徒が小学校で慣れ親しんできたアプリについての研修を積む。 ・教科横断的に取り組む内容を再構成し、「総合的な学習の時間」の充実を図る。探求学習の効果的な運用について各学年で研修を行う。 ・定期試験前2週間の学習計画を考えることで学習習慣を身につける機会を増やす。	
下半期		・前期に次いで、効果のあった学習形態などについてのまとめを教科ごとに作成し、他教科とも共有する。 ・職員が相互に研究を深めるための時間をさらに設定する。 ・教科ごとにICT機器の効果的な利用例をまとめ、校内で共有する。 ・各学年での探求学習の実施状況や生徒の反応を共有し、翌年度の計画を具体的に立てていく。 ・学習計画、実際の学習結果、定期試験の結果を振り返ることで、自己の課題をみつけ計画を調整する力を育成する。	

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
人権教育	・「いのちの授業」や人権標語など、意識を高める教育活動を継続する。 ・生徒の声を反映させるために、YPAアセスメントや振り返りアンケートの活用を充実させる。 ・小中合同研修会では、特別支援教育の視点での研修を行い、ブロックとしての観の共有を図る。 ・平和学習を推進し人権尊重精神の涵養に取り組む。
担当	人権国際理解推進委員会

豊かな心に関わる本校の状況	今年度の目標
○生徒会の活動や地域の協力等により、礼儀やあいさつといった基本的生活習慣、時と場の応じた言動や態度はおおむね良好であると思われる。さらに自尊感情を高め、自分も他人も大切にすることを育て、人の気持ちを考え行動することができるように指導を継続していく必要がある。	「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校づくり 自尊感情を育む取り組み
○自身の失敗を恐れてしまう生徒が多いため、新たな挑戦を積極的にできる雰囲気を作り、成功体験、充実感を意図的に持たせていく必要がある。	
○他者の失敗を笑ったり責めたりする言動が時々あるため、全教育活動を通して、人権尊重の精神の育成に努めていく。	
○不登校傾向の生徒が増加傾向にある。豊かな感性や情操の育成に努め、気持ちに余裕をもてるように指導していきたい。	
目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	・日々の学校生活や各行事における目標について生徒に考えさせ、その目標を達成できるよう支援することで自尊感情の向上を図る。 ・新しいことに挑戦するよう推進し、結果よりもその過程を称讃していくよう心がける。 ・生徒会活動として行っているあいさつ運動を意識づけ、職員からも積極的に生徒や来客等にあいさつを行う。 ・授業や学校生活全般を通して褒める指導を大切にし、成功体験を増やし、生徒間でも仲間を成功を称え、失敗を励ますことを推進する。 ・生徒の実態に合わせた道德教育を実践する。 ・全教育活動を通じて、気持ちに余裕をもって取り組むことが、成功につながることを指導できるよう心がける。
下半期	・道德において学校教育全体で行っている道德教育と、道德教育を深化・補充・統合するために行っている道德科授業との関連をしっかりと図るために、道德科授業の年間計画の他に、必要に応じて道德教育の別業の見直しを行う。 ・道德的価値について自ら考えるきっかけとなるように「私たちの道德」を積極的に活用していく。 ・学校教育全体で行われている道德教育と道德の時間との関連を重視し、行事や生徒指導において道德の内容項目（道德的価値）を踏まえたねらいを再検討する。 ・生徒会活動（あいさつ運動、募金活動、その他福祉的活動）等により、生徒の自治意識・自主性の向上を目指し、職員も積極的に協力・実践していく。 ・生徒会本部の活動と各委員会での活動や学級の係活動との関連を図る。

健やかな体の育成プラン

重点取組分野	具体的取組
健康・安全管理	・委員会活動で、安全点検を実施する。 ・清掃道具の管理、消毒や換気など、安全で快適な学校生活環境を整備する。 ・外部侵入者に対する訓練を行い、生徒の自衛能力向上に向けて具体的な行動について確認する。 ・授業や委員会活動を通して心身の健康の維持と向上に努め、全員給食と合わせて食育の充実を図る。
担当	保健指導部・保健体育科

健やかな体に関わる本校の状況	今年度の目標
○避難訓練は年3回実施している。回ごとに、その目的に応じた訓練方法を行っている。そのうち1回は地域の小学校と連携し、引き渡し訓練を実施している。	・運動の楽しさを知り、生涯にわたって運動に親しむ態度や能力を育成する。 ・自己の課題に向けて、チャレンジしていく意欲をもたせる。 ・健康、安全への適切な理解と健康維持、危険回避などの能力を育成する。
○新体力テストの時間を確保し、職員全体で生徒の身体能力の状況を把握するように努めている。	目標を実現するための具体的行動プラン
○身体計測の時間を確保し、職員全体で生徒の身体的成長を把握するように努めている。	
○運動部への加入も多く、「週3日以上運動をしている」生徒の割合も多い。定期的に体を動かす習慣がある程度身についている。	
○保健体育の授業や体育祭などに意欲的に参加するが、自己の能力を分析・把握し主体的に取り組む姿勢に課題がある。	上半期
○朝食の摂取率も高く、昼食の状況から見ても食生活が健康的である生徒の割合は多い。	下半期